

令和7年度第3回 知多市地域公共交通会議 要旨

○日 時 令和7年10月23日(木) 午前10時00分～午前11時30分

○場 所 知多市役所 3階 協議会室

○出席委員 20名

- ・知多市 副市長 立川 泰造
- ・東部コミュニティ 会長 倉富 和之
- ・岡田コミュニティ 会長 竹内 秀隆
- ・旭東コミュニティ 会長 渡辺 收
- ・知多市社会福祉協議会 会長 小宮 克裕
- ・知多市観光協会 会長 夏目 豊
- ・知多市商工会 青年部長 山口 祐史
- ・名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授 松本 幸正
- ・知多乗合株式会社 代表取締役社長 近藤 博之(代理:橋本 大輔)
- ・レクスル株式会社 代表取締役 鶴田 誠(代理:服部 佳代)
- ・公益社団法人愛知県バス協会 専務理事 小林 裕之
- ・名古屋鉄道株式会社 地域活性化推進本部 地域連携部交通サービス担当課長 高井 勇輔
(代理:内藤 真一)
- ・愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事 栗山 忍(代理:村上 友樹)
- ・中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官 原田 光一郎
- ・愛知県都市・交通局 交通対策課 担当課長 石屋 義道(代理:竹之内 陽平)
- ・愛知県知多建設事務所 維持管理課長 関本 慎司(代理:北川 秀一)
- ・愛知県知多警察署 交通課長 角谷 望(代理:舟橋 秀晃)
- ・知多市 都市整備部長 細川 賢弘
- ・知多市 福祉子ども部長 花井 佳世
- ・知多市 環境経済部長 竹内 和彦

○欠席委員 3名

- ・八幡コミュニティ 会長 伊達 八穂
- ・南粕谷コミュニティ 会長 鈴木 孝昭
- ・愛知県タクシー協会 知多支部長 南 伸幸

○傍聴者 12名

○事務局 7名

- ・企画部長 林 和宏
- ・市民協働課長 平岩 佳代
- ・市民協働課 青木 優
- ・市民協働課 竹内 俊介
- ・市民協働課 宮崎 彩寧
- ・都市計画課長 市川 隆人
- ・都市計画課 早川 康裕

会議の経過及び発言の要旨

1 あいさつ

【副市長】

日頃から市政運営に格別のご協力をいただき、心から感謝申し上げます。先月のEV車両のお披露目会では皆様に多く出席いただき、10月から大きなトラブルもなく順調に運行している。また、10月4日に新市長として伊藤が就任した。引き続き、地域公共交通施策を推進していく。

本日は、協議事項として、地域公共交通計画の策定について取り上げる。7月のオープンハウス型の意見聴取イベントと8月の市民ワークショップでいただいた意見から実施事業案などを整理し、計画（素案）を作成した。この計画は、今後の本市における公共交通施策の基本となる。地域の実情に即した、より効率性のある計画となるよう活発なご議論をお願いしたい。

2 協議事項

(1) 知多市地域公共交通計画の策定について

【事務局】

●知多市地域公共交通計画の策定について（資料1-1）

- ・計画は地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするマスタープランとして役割を果たすもので、地域公共交通会議で協議しながら作成していくもの。
- ・計画は2年にわたって作成し、令和8年3月の完成を予定している。
- ・令和6年度は、公共交通の利用実態の把握や分析を行うため、バスの乗降調査や各種アンケート調査などを実施し、公共交通を取り巻く課題を整理した上で、目指す将来像や基本方針について検討し、計画の素案をとりまとめた。
- ・令和7年度は、目標を達成するために実施する事業とその実施主体について検討し、策定状況などを市内10コミュニティの代表者に説明したほか、市民の意見を反映した計画とするため、オープンハウスや市民ワークショップを開催した。また、計画の達成度を評価するための「目標値」について各交通機関と協議するとともに、事業実施スケジュールの整理を行った。12月のパブリックコメントを経て2月25日の会議で最終案についてご協議いただく予定。

●知多市地域公共交通計画（素案）（資料1-2／前半）

- ・計画（素案）を基に実施した意見聴取イベントの内容及び第1回会議以降の主な修正事項について説明する。
- ・オープンハウス（7月）では、228人の方に参加いただき、年代ごとに「いいねシール」を分け、共感した事業のパネルに貼っていく形式とし、第8章の「暮らしを支えるネットワークの確保」「移動手段の確保に向けた取組の推進」「子どもの公共交通利用を促進する取組の推進」のパネルに多く貼られ、自由記述のアンケートも含め意見をいただいた。（70ページ）
- ・市民ワークショップ（8月）では、35人の方に参加いただき、「公共交通をよくするためのアイデア」「公共交通を維持するために自分たちができること」などについて意見交換した。（72ページ）

●第1回会議以降の主な修正事項（資料1-3）

※以下抜粋

- ・方針3の「リ・デザイン」は脱炭素社会の実現に向けた車両の電動化などの交通GXの取組が位置づけられているため、課題3との関連を加えた。(49ページ)
- ・資料1-2差し替えページ(別添)は、あいあいバス北部循環コースの市内幹線軸としての役割を整理するとともに補助路線への位置付けを明記した。(52ページ)
- ・目標指標、確認指標を設定した。(53ページ)
- ・市民ワークショップでいただいた意見から「バス停の待合環境の改善」について、第8章の実施事業案に記載した。(56ページ)
- ・移動手段の確保に向けた取組の推進については、福祉タクシーやNPOによる福祉有償運送事業の支援など「所管部署等と連携して取り組む」と整理した。(57ページ)
- ・知多水素ステーションで実証実験を始めた「低炭素水素モデルタウン実証事業」の発表を受け、燃料電池自動車の導入について記載した。(58ページ)
- ・市民ワークショップでいただいた意見から「公共交通利用者に対する商業施設等で利用できるクーポンなどの配付」について、実施事業案に記載した。(59ページ)
- ・関係機関との連携によるイベント時の公共交通利用促進などを記載した。(64ページ)

●知多市地域公共交通計画(素案)(資料1-2/後半)

- ・第1回会議後に取りまとめた、第8章65ページの「事業スケジュール」及び第9章「計画の達成状況の評価」に加え、第7章53ページの「目標指標」について説明する。
- ・第8章の65ページでは目標を達成するために実施する10の事業について、令和8年度から令和12年度までの事業スケジュールを記載した。
- ・第9章の66ページでは計画の達成状況をPDCAサイクルの運用により評価するためのスケジュールを記載した。
- ・毎年、地域公共交通会議において、実施事業の進捗管理や目標の達成状況を確認するとともに、適宜、改善策の検討を行う。また、各年度で実施する具体的な事業については、前年度の会議で確認する。

●目標指標について(資料1-4)

- ・53ページでは、本計画で掲げた交通将来像及び3つの方針を実現するための目標指標を

2つ設定している。1つ目は「公共交通利用者数」、2つ目は「年に1回以上公共交通を利用したことがある市民の割合」を設定している。

- ・ 1つ目の目標指標は各交通事業者と協議の上で設定し、目標値となる令和12年の年間利用者数を鉄道950万人、路線バス23万人、あいあいバス15万人、地域バス1万人（東部、旭北の2地区合計）としており、いずれも現況値から増加を目指す。なお、タクシーについては、市単独で算出できないことから除いている。
- ・ 67ページでは、目標値の設定根拠について記載しており、鉄道と路線バスは「利用が多かった3か年の平均利用回数×推計人口」により算出し、あいあいバスと地域バスは「利用が最も多かった年の利用者数×後期高齢者数の増加率」により算出した。
- ・ 2つ目の目標指標は現況値の83.9%以上を目指す。
- ・ 確認指標では「公共交通により市内の移動が便利であると思う市民の割合」「利用者1人当たりの市負担額」「バスロケーションシステムのアクセス数」「自宅近くを走るバスで行くことができる施設の認知度」を設定した。

<主な質疑、意見等>

【委員】

地域バスの目標値は、市全体の高齢者増加率ではなく、より実態に近いコミュニティ単位の高齢者増加率を反映して設定してはどうか。また、地域バスはワンボックスサイズで運行しているが、乗りこぼし等について把握しているか。

【事務局】

国立社会保障・人口問題研究所の2030年の推計データがコミュニティ単位では公表されておらず、客観的なデータに基づく算出が難しいため、市全体の増加率を用いている。

地域バスの乗りこぼしについては、ドライバーの日報、コミュニティの月報を通じて混雑状況等の報告を受けており、現状は把握している。

【副会長】

地域バスについて、現況、乗りこぼしはかなり発生しているか。

【事務局】

記録ではそこまで乗りこぼしという数字は出てないが、実際の現場では、満車に近くなると、次の便に切り替える方も中にはいると伺う。利用者同士の譲り合いで成り立つ部分もあるが、あまりにも乗りこぼしが多いということであれば、市とコミュニティが協働して取り組む交通なので、情報共有を図りながら一緒に見直していきたい。

【副会長】

10分間隔等で走っているわけでもなく、かなり予定が変わってしまうこともあるので、基本的には皆さんにご利用いただけると良いと思う。まずは現状をしっかりと把握いただきたい。地域バスは無償運行なので、道路運送法上で求められるようなところまではいかないと思うが、地域の方々にとってはお困りのことだと思うので、もし問題が大きいのであれば市とコミュニティで協力して対応されたい。

【委員】

54ページの第8章「目標を達成するために実施する事業」について、他の自治体の計画等を見ても実施事業に「案」と記載して策定するケースが少ない。理念計画だけでなく、この公共交通計画は実施計画の側面も持っているので、「案」という表記は削除した方が良いのではないか。もし、予算化等でなかなか表現が難しいのであれば、ちょっと表現を弱めて記載していただく等が必要ではないか。

66ページの9章の評価で、計画期間5年間の評価スケジュールを記載されているが、もし可能であれば年間単位の評価スケジュール、例えば評価する協議会や会議の開催回数など、1年のスケジュールを記載いただけると良い。

【事務局】

やはり予算を確保して実施する必要があるので「案」と記載しているが、次の議題で、翌年度に実施する事業案についてご協議いただく流れとしている。

年間のスケジュールについては、記載した方がより具体性が高まると思うので、表現方法も含めて記載する方向で検討したい。

【副会長】

年間スケジュールは国の補助事業に対応する必要があるため、毎年、6月に地域間幹線系統等を計画し、1月に自己評価を行い国に提出する。少なくともこの2つを明記しつつ、その期間中、10月の会議で翌年度に実施する事業を検討するという流れを表に整理されたい。

実施事業案については、予算が確定する前で「案」にせざるを得ないが、知多市として重要なのは、毎年10月頃に、翌年度の実施する事業を会議でご協議いただき、その上で取り組むという流れになると思う。65ページの冒頭に「実施事業案を基に各事業に紐づく取組を毎年度検討する」等を記載すると良い。

【事務局】

ご意見いただいた内容を参考に分かりやすく記載する。

【副会長】

66ページのPDCAサイクルについて、運用上「CHECK」の結果は翌々年度に反映される流れになるので、1年ごとに色のトーンを変えるなど修正されたい。会議の運用としても、期間中の1月に自己評価を行った結果は、翌年度ではなく、翌々年度に反映されることを把握した上で、その流れを確認しやすい表を記載できると良い。

第8章の実施事業案に記載される「想定する実施主体」については、ご自身が所属する団体が明記されていれば、その内容を踏まえてご認識いただきたい。もし修正等が必要であればご意見いただくと同時に前向きなご意向があれば、ぜひご参加いただきたい。

65ページの「事業スケジュール」に基づき、実施する時期が明記されているが、ほとんどの事業が来年度から実施してもらうこととなる。改めて、知多市地域公共交通計画はこの会議で策定するもので、皆さんが責任をもって実施することをご認識いただきたい。

第8章の実施イメージには添付した写真の右横に説明文が記載されている方が分かりやすく良いが、一部省略されているため、簡単な範囲で全ての写真に説明文を記載されたい。

【事務局】

PDCAサイクルの表の修正及び写真右横の説明文について修正する。

【副会長】

オープンハウスや、市民ワークショップでいただいたご意見を反映した部分も含め、とても前向きな良い計画になったと思う。目標値も前向きになっているという印象だが、委員の皆さんのご意見も伺いたい。

【委員】

今までどういう会議体でどんな取り決めがあって運行されているのか正直分からなかったが、今年から会議に参加してみて交通機関の具体的な内容がすごく話し合われている印象を受けた。8月の市民ワークショップ「まちあいカフェ」にも参加したが、その中で皆さんから出た意見等も今回反映されているので、非常に楽しみにしている。継続的にこの会議で様々な確認をしていきたい。

【副会長】

知多市の交通施策はこの計画に基づき取り組めるようになるため、来年度以降、順番に実施しながらその状況を皆さんで確認し、一つずつ進めていければ良いと思う。

【委員】

私も「まちあいカフェ」に参加して思ったのは、若い方が良い意見を出してくれて、今回の計画に一部反映されているので、非常に良いことだと思う。65ページの「新たなモビリティやサービスの導入検討」が、検討・調整で5年間線が引かれているが、具体的な実施に近づくのか、この先も検討が続くのか、その辺について教えていただきたい。

【事務局】

知多市でどのように実証運行まで進めるのかなど、現段階で具体的なスケジュールを組めないが、モビリティ技術の進展や国や県などからの情報を見極めながら、具体化できる状況となれば、翌年度の事業の実施方針の中で示していきたい。

【副会長】

知多市に水素ステーションが整備されたことを契機に他自治体よりも先進的な姿勢で燃料

電池バス（FCV）の導入を検討し、県で実証運行などの募集があった際には積極的に参画できるように情報収集に努められたい。しかし、動向が未定な部分もあり、現段階で「導入する」と方針を確定できないため、毎年度、その動向を確認されたい。

【委員】

お披露目会にてEVバスに試乗させてもらった。とても静かでUSBも完備されており、乗り心地が良いと思った。導入に当たり努力していただき感謝申し上げます。

【副会長】

58ページに紐づく環境に配慮した車両として、今月からEVバスの運行が開始した。今回の計画でその他のモビリティの導入検討が更に加速されると期待いただきたい。EVバスは順調か。

【事務局】

現時点で、大きなトラブルや故障等は報告を受けていない。また、車両が新しくなり、通学目的で利用する高校生からも好印象であった。引き続き、新たなモビリティについて動向を確認しながら検討していきたい。

【委員】

EVバスはとても乗り心地が良く、障がい者の方にも優しい仕様となっている印象を受けた。一方で、自分自身も何歳まで運転できるかという不安も感じ始めており、観光分野と結び付けた交通施策を講じることで利用の裾野も広がると感じている。

【事務局】

64ページに記載しており、観光も重要な分野だと位置付けている。

【副会長】

多客期の移動需要に対応したサービス改善などもあり、需要に応じて臨時バスの運行も可能になる、そんな計画だと思う。

【委員】

花火大会では、鉄道の増結やシャトルバスの運行など移動手段の確保に取り組んでいただいている。梅まつりにおいても、知多乗合株式会社の休日増便や名古屋鉄道株式会社とタイアップした抽選会などの開催に向けた依頼を進めていきたい。また、イベント時のシャトルバスの利用者をカウントし、一般車の減少率などを測れば良い指標になるかなと感じる。

地域バスについては、確実に利用者が増えている。高齢化率等を地域事情に応じて算出すれば、地域バス利用状況の分析や目標値の設定に活かせると思う。

【事務局】

イベント時のシャトルバス利用人数について、今月の産業まつりにおいてもレスクル株式会社に運行していただく予定で、商工振興課が担当部署として調整している。交通部局としても意見交換や実績の把握に努め、その数値を次年度に活かしたい。

【副会長】

イベントによる違いもあるので目標設定は難しいが、把握するのは大事だと思う。イベント時にシャトルバスを運行し、どの程度の輸送量があったかを情報提供いただくと良い。

【委員】

「まちあいカフェ」はすごく良い取組だと思うが、もっと活発にやらないのか。

【事務局】

「まちあいカフェ」は、この計画を策定するための試みだったが、参加者の方からとても好評で、こういう機会があるといいなというご意見もあった。公共交通のことを知ってもらう、興味が湧くイベントとして、また実施できるよう計画したい。

【委員】

このような機会が定期的にあると、貴重な意見がたくさん出ると思うので、更に公共交通は良くなっていくのではないかというのもある。61ページのバスロケーションシステムは知

多市でもやるのか。また、バスロケーションシステムを活用してアンケート調査が実施できれば、利用者の方も意見を出しやすいと思う。

【事務局】

61ページは市民へのわかりやすい情報提供として記載しているが、バスロケーションシステムはあいあいバスに既に導入している。現時点で意見を受け付ける機能はあるが、アンケートなどのオプションが可能かシステム会社に相談してみる。

【委員】

「Uber タクシー」のようなアプリでタクシーを手配できる機能はないか。

【事務局】

「GO」アプリが利用できる。

【副会長】

他自治体の中には「まちあいカフェ」のような市民ワークショップを毎年実施して、そこに来るのを楽しみにしている住民の方々もいた。しかし、予算や事務局の負担が非常に大きいため、事務局だけでなく商工会と是非タイアップして実施されたい。バスロケーションシステムについては効果的なPRにより認知度の向上を目指すこと。

【委員】

今の子どもたちは、コロナ禍の外出制限や家族旅行のマイカー移動などの理由で「電車やバスに乗ったことがない」「公共交通の乗車マナーを知らない」といった事情を伺うことがあり、教育観点の施策としても「市民ノーカーデー」とかを大々的に売り出して、公共交通のことについて意識を高めるという方法も一つの手ではないかと思った。

【事務局】

後ほど県から「エコモビ実践キャンペーン」の説明があり、知多市役所職員にエコ通勤の推進を呼びかける。計画の63ページにも、エコ通勤デーを「ゼロカーボンシティちた推進パ

ートナー」にも声がけをして、取組を拡大する方向性で位置付けをしている。

子どもたちへの取組としては、60ページ、小学生を対象とした乗り方教室の実施など、利用者の裾野を広げられるよう次年度予算に計上している。

【副会長】

静岡県は県内全てのバスで「小学生無料デー」を年に1回実施しており、小学生一人に両親などがセットで利用されるので増収になると報告されている。知多市だけでなく知多半島全域など広域でやると良いと思う。機が熟してきたら、具体的な案を計画されたい。

【委員】

今回の計画内容がそのままパブリックコメントに付されるのか。

【事務局】

この協議を踏まえた上でパブリックコメントを実施するが、ご意見があればどのような様式でもいいので来週の火曜日までに事務局に提出してほしい。

【副会長】

間違いや誤字脱字などお気づきの点を来週の火曜日までに事務局にご報告いただきたい。内容が変わるようなことであれば協議が必要なので、今ご発言いただきたい。

【委員】

27ページの愛知県地域公共交通計画の記載について、この計画期間が令和8年度までの内容になっており、現在、次期計画について策定の準備を進めている。今回の計画が令和12年度までの内容になるので「次期計画を策定予定」のような一文を入れてはどうか。

【副会長】

次期計画について追記をお願いしたい。また、65ページの実施事業案に基づいて毎年度実施する事業を検討する旨を記載。66ページのPDCAの年度別のトーンを変更し、単年間のスケジュールを表の下に挿入する。実施イメージの写真に説明文を加えるなど、必要な修正

を行い会長と私で確認後、この計画案をパブリックコメントにかけることとする。

現段階では概要版とかはないのか。

【事務局】

現在、作成中である。

【副会長】

パブリックコメントについて、地域の代表の方々に周知されたい。ホームページ等に掲載するなど、できるだけ多くの方の目に触れていただくことが大事である。その他異論なしとうことで、協議事項1についてよろしいか。

【委員】

(一同、異議なし)

(2) 令和8年度に実施する事業案について(資料2)

【事務局】

- ・54ページの第8章で示した、目標を達成するために実施する10の事業に紐づく翌年度に実施する事業案をまとめた。令和8年度の主な事業案として整理した(1)から(12)の事業について確認する。
- ・記載する事業案は、予算成立前の現時点における方向性を示したものである。
- ・関係者の方と検討調整を行った上で、実施に向けたスケジュールや内容をより具体的に整理し、第4回会議で令和8年度事業計画案としてご協議いただく予定。

※以下抜粋

- ・資料右側「(2)あいあいバスの車両更新」について、来年度、北部循環コース系統2及び南部コースの車両が耐用年数の目安である10年を迎えるため、安全な運行に支障が出ないよう車両更新を検討中。更新する車種等については今後検討する。更新時期は令和8年10月以降を予定している。
- ・資料右側「(4)バス路線の見直し」について、例として、路線バス佐布里線では、知多翔

洋高校生の通学時間帯に学校を経由するルートへの変更など、既存路線の利用促進と効率的な運行に向けた見直しを、運行事業者の知多乗合株式会社と検討する予定。見直しにあたっては、利用者への影響に留意しながら、学校へ実態調査を実施するなど、適切な変更となるよう丁寧に進める。

- ・資料右側「(10) 外国人の方を対象とした出前講座の実施」について、子どもを対象とした乗り方教室のほかに、市内事業所等で働く外国人の方にもバスに関する情報を分かりやすく提供し、通勤や生活の移動手段として公共交通を身近に感じていただけるよう、出前講座などを実施する予定。

<主な質疑、意見等>

【副会長】

65ページ「事業スケジュール」では10の事業が記載されているにも関わらず、資料2では実施整備の矢印で示す「10 観光分野と連携した公共交通利用の促進」の記載がない。その点どう仕分けしているのか。

【事務局】

資料2にまとめた内容は新たに実施する事業を主に記載している。「10 観光分野と連携した公共交通利用の促進」は既に実施しているという位置付けで引き続き行っていく予定としている。

【副会長】

資料に、全事業ではなく「新規事業のみ」などの説明文を記載すると良い。この後、市議会で承認されれば、知多市地域公共交通会議として実施する事業となる。特に異論ないので、承認いただけたということによろしいか。

【委員】

(一同、異議なし)

3 報告事項

(1) あいあいバスの迂回運行終了に伴う通常ルートの再開に係る書面協議の結果について

【事務局】

- ・あいあいバス北部循環コース系統1、系統2の運行経路及び停留所を従前の運用に戻すことについて説明（資料3-1）。
- ・工事の進捗状況に合わせて通常ルートの再開日を早めるため、書面での再協議を行い、愛知運輸支局への届出等、必要な手続きは完了している。
- ・今回の変更に伴う運賃料金部会の結果について説明（資料3-2）。

<主な質疑、意見等>

【副会長】

書面での再協議などの協力に感謝する。当初の予定より工期が短くなり、その進捗に対応して通常ルートの再開が早くなり良かった。

4 その他

【委員】

●エコ通勤デーについて

愛知県では11月20日から12月19日までを「エコモビ実践キャンペーン」の期間としており、12月3日水曜日は県内一斉エコ通勤デーである。キャンペーンは企業・団体として登録・参加いただくものになるが、セミナーについてはどなたでもご参加いただけるので、是非ご参加いただきたい。

【事務局】

●バスのイベント情報について

今週末10月25日、26日に「知多市制施行55周年記念第53回知多市産業まつり」が開催される。会場周辺に駐車場がないため、知多乗合株式会社にご協力いただき、あいあいバス南部コースを中型バスに切り替えて運行するほか、レスクル株式会社に臨時駐車場からのシャトルバスを運行していただく。また、25日に市民活動センターまつりを開催し「はたらくクルマ大集合」として、消防車やパトカー、白バイ、レスクル株式会社の2階建てバス車両などを集めて、親子で楽しめるイベントを企画している。

来月11月2日に「第2回ちたワクワクフェスティバル！」をイトーヨーカドー知多店にて開催する。屋上駐車場でステージイベントやマルシェを実施するほか、1階東側入口前でレスクル株式会社のご協力のもと、バスイベントを開催する。

●今後のスケジュールについて

次回の会議は令和8年2月25日（水）午前10時から開催を予定している。

<主な質疑、意見等>

【副会長】

今週末と来週末、イベントがある。是非公共交通でご来場いただきたい。

その他、意見等無し。会議終了。